

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績								
1. 公 債 費	1. 地方債現在高の状況								
	令和2年度の町債は、主な事業として、防災無線整備事業等を含む緊急防災・減災事業債（2億3,180万円）、上居辺地区道営特別農道整備事業等を含む地域活性化事業債（6,240万円）及び学校教育施設等整備事業・道路整備事業等に学校教育施設等整備事業債・公共事業債・辺地対策事業債など（1億4,060万円）を充当し、その他臨時財政対策債及び減収補填債の借入を行い、地方債の借入額合計は5億7,617万円となった。これにより地方債の残高は、対前年度対比1.6%の減少となった。								
	地方債現在高 (単位：千円・%)								
	年 度	発行額	元利償還額		元利償還額のうち繰上償還額	年 度 末 現 在 高	実質公債費 比 率		
			元 金	利 子					
	2	576,171	685,337	35,250	—	6,751,226	6.3		
	元	423,882	737,409	42,895	—	6,860,392	5.9		
	30	583,800	702,479	51,219	—	7,173,919	5.1		
	29	518,000	656,072	60,005	—	7,292,598	4.2		
	28	1,183,600	638,528	68,897	—	7,430,670	3.7		
1. 公 債 費	2. 長期資金償還額内訳								
	本年度の償還対象事業では、地方税減収補てん債（平成12年度）、地方特定道路整備事業債（平成12年度）、公共事業等債（平成17年度、平成22年度）、豪雪対策債（平成17年度）、辺地対策事業債（平成22年度）、地域活性化事業債等（平成22年度・平成27年度）、一般補助施設整備等事業債（平成27年度）、一般廃棄物処理事業債（平成27年度）等の償還が完了となり、平成27年度の公共事業等債、平成28年度の臨時財政対策債、地域活性化事業債、公共事業等債、地方道路等整備事業債、平成29年度の補助災害復旧事業債、一般廃棄物処理事業債、緊急防災・減災事業債、防災対策事業債、平成30年度の公共事業等債等の元金が償還開始となった。								
	本年度の元金の償還総額は、前年度より5,207万円減少し、対前年度比では、7.1%の減少となった。								
	借入先別現在高 (単位：千円)								
			政 府 資 金			地方公共団 体金融機構	銀行等	共済組 合 等	計
			財政融資	郵貯資金	簡易保険				
	前年度末残高		4,113,372	12,422	0	1,147,735	392,713	1,194,150	6,860,392
	本年度発行額		215,871	0	0	239,000	11,400	109,900	576,171
	償 還 額	元 金	349,576	2,088	0	160,249	56,274	117,150	685,337
		利 子	16,107	12	0	12,167	2,631	4,333	35,250
計		365,683	2,100	0	172,416	58,905	121,483	720,587	
本年度末残高		3,979,667	10,334	0	1,226,486	347,839	1,186,900	6,751,226	
1. 公 債 費	3. 短期借入金の状況								
	令和2年度の歳計現金は、資金需要期（4～5月期、2～3月期）に資金不足を生じたため、一時借入を行った。資金不足の要因は、土幌終末処理場建設工事の支払い（4～5月）と、建設事業の大きな財源を占める地方債が年度末以降（3～5月）に入金となることから、年度末にかけての支払いが増加する時期に大きな資金を必要とした。								
一時借入金の借入は、2件で延べ借入期間は前年度比4日間減の92日間、これに伴う支払利子については、前年度比160,877円（36.5%）の減となった。									

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
	<p>○一時借入金累計額 900,000千円 (前年比300,000千円減)</p> <p>○借入期間 延92日間(2件)</p> <p>○一時借入金支払利子 279,451円</p> <p>○借入利率 1回目0.24% 2回目0.24%</p>